

大山隠岐国立公園が 国立公園満喫プロジェクトの モデル公園に選ばれました！



隠岐 国賀海岸



島根半島西部 目御崎



島根半島東部 加賀の潜戸



三瓶山 東の原

国立公園満喫プロジェクトとは？

日本の国立公園に訪れる外国人に、諸外国のナショナルパークのように、自然に触れ「満喫」してもらい、繰り返し行きたくなるような国立公園を目指すという環境省の取組みです。

現在、全国32カ所の国立公園うち、大山隠岐国立公園をはじめ8カ所がモデル公園に選定され、快適な受入環境の整備や魅力的な取組みを図っています。モデル公園の取組みは、将来的には全国の国立公園に展開することを目指しています。

日本の大地の成り立ちが刻まれ、 ～山から海まで多彩な

大山隠岐国立公園

ステップアッププログラム 2020 の策定

大山隠岐国立公園では、国、島根県、鳥取県、岡山県、地元自治体、関係団体などをつくる地域協議会を組織し、プロジェクトの事業計画「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2020」をつくりました。

この計画を基に平成28年から32年にかけて、訪日外国人を惹きつける取組みが、積極的に行われます。

大山隠岐国立公園の取組方針

大山隠岐国立公園は、古代神話の舞台であり、隠岐の島、島根半島、三瓶山、大山・蒜山・三徳山地域には、山・島・海と様々な自然が存在しています。歴史、文化、スポーツの他に、郷土食や地域の人とのふれあいなども体験できる魅力的な地域です。

大山隠岐国立公園では、地域の特色を最大限に活かし訪日外国人を魅了する取組みを積極的に図っていきます。

島根県内各地域での取組み

県内には隠岐地域、島根半島東部・西部地域、三瓶山地域の4つの国立公園が存在します。

大山隠岐国立公園満喫プロジェクトは、それぞれの地域ごとに重点取組地域「ビューポイント」を選定し、快適な受入環境の整備や体験プログラムの開発など、集中的な取組みを実施することで、国立公園全体の取組みを牽引していくことを目指します。

島根県内の国立公園の各地域とビューポイントは次のとおりです。

| | |
|----------|------------------------------|
| 隠岐地域 | ①浄土ヶ浦 ②国賀海岸 ③赤壁 ④明屋海岸 |
| 島根半島東部地域 | ⑤五本松公園・地蔵崎園地 ⑥桂島海岸・加賀の潜戸・多古鼻 |
| 島根半島西部地域 | ⑦大社・日御碕・鷲浦 |
| 三瓶山地域 | ⑧三瓶山 |

ビューポイントの取組み

現在、県内国立公園の各地域において、ビューポイントでの取組みが検討されています。

今後、周辺地域との連携、他地域との連携などを行い、地域が一体となり、より魅力あるプログラムの開発などを目指します。

ビューポイントの事例は、次のとおりです

- 事例**
- 拠点施設へインフォメーション、ツアーデスクの設置を検討
 - トイレの洋式化、駐車場の整備、多言語案内看板の整備、登山道、遊歩道、休憩所の整備等
 - サイクリング、トレッキングなどアクティビティを含めた体験プログラムやツアーの開発
 - ストーリー性を付加したガイドの養成

島根県内のビューポイント



島根半島西部地域



三瓶山地域



三瓶山地域

三瓶山は四季折々の豊かな自然のやウォーキング、サイクリング、キャンプなど多くの人々に親しまれており、誰く包み込む包容力を持った山です。

三瓶山地域ではヘルスツーリズムや、自然や歴史・神話などの学習、様々なビティの体験などを充実させ、訪者滞在したくなるような地域を目指し

神話・信仰が息づく山・島・海

自然の恵みを楽しむ～



隠岐地域

島根半島東部地域

6

5

松江市

安来市

奥出雲町



西の原



浮布池

中で、登山
ブなどによ
をもやさし

の取り組み
なアクティ
た人が長く
ていきます。

隠岐地域

「隠岐地域」では、隠岐ユネスコ世界ジオパークとして、「大地の成り立ち」、「独自の生態系」、「人の営み」の3つのテーマで取組みが積極的に行われています。

大山隠岐国立公園満喫プロジェクトは、隠岐ユネスコ世界ジオパークと連携して、快適な受入環境の整備、魅力ある体験プログラムの開発などに取り組んでいきます。



赤壁



明屋海岸

島根半島東部地域

異国情緒が漂う灯台ビュッフェがそびえる地藏崎。遊覧船が楽しめる加賀の潜戸。周辺にはラムサール条約登録湿地穴道湖・中海の優れた自然景観、神話、歴史遺産、ユネスコ無形文化遺産や、各地に風習・祭りなど様々な歴史文化が残る地域です。

「国引きジオパーク構想」の取組みとも連携して、快適な受入環境の整備、魅力ある体験プログラムの開発などに取り組んでいきます。



五本松公園



地藏崎

島根半島西部地域

出雲国風土記にも記された由緒ある地域の大社・日御碕・鷺浦地域では、古来から続く神幸神事（夕日の祭り）が執り行われています。

歴史・文化的な価値もあわせて世界に誇れる「日本一の夕日スポット」として来訪者に感動を与えるスポットとなるよう受入環境の整備、魅力ある体験プログラムの開発などに取り組んでいきます。



鷺浦



経島

「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」 再認定に向けた整備が完成しました

平成23年度から実施してきた「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」の施設整備は、平成28年度末で完成しました。老朽化した公衆トイレ、駐車場、遊歩道、休憩所、標識等の改修に併せて、トイレの洋式化・バリアフリー化、駐車場の大型バス対応、遊歩道の舗装化をしたことにより、ジオサイトへのアクセスや利用がしやすくなりました。

隠岐のジオサイトでは、当地特有の優れた大地の遺産や美しい自然景観、独自の生態系などに触れることができます。今後、ますますジオパークの利活用が図られ、多くの皆様にその価値を認識していただけることを期待しています。



白島崎園地駐車場（隠岐の島町）



西郷岬園地駐車場（隠岐の島町）



那久岬園地遊歩道（隠岐の島町）



島津島園地遊歩道（知夫村）



海苔田鼻線道路遊歩道（隠岐の島町）



島津島園地休憩所（知夫村）

県立自然公園「断魚溪」遊歩道全線開通!

県立自然公園の断魚溪は、平成25年8月の豪雨災害により公園や遊歩道など多くの設備が被害を受けました。平成26年度から2カ年掛けて復旧工事に取り組み、平成28年4月より全線開通することができました。

断魚溪は、江の川の支流濁川が流紋岩を浸食してきた渓谷で、延長4kmにわたって奇岩怪石が連なり、清流がいたるところに滝や深淵をつくっています。嫁が淵、神楽淵、連理ヶ滝、箕の腰などが24景の中で代表的な景観です。自然が彫刻した美しさや、岩にぶつかる凄まじい水の流れなど壮大な景観を見ることがで

きます。また、濁川は古来石川とも呼ばれ、万葉歌人柿本人麻呂の妻の歌「石川の貝に交じりてありといはずやも」の石川の貝(谷)とはここ断魚溪ではないかという説もあります。四季折々の景観を眺めることのできる断魚溪は、昭和10年に国の名勝に指定されています。

訪れる方が利用しやすいように、復旧工事に併せて急傾斜だった階段も緩やかな階段に改修しました。また、無料ガイド（毎月第2土曜日 10:00～）も実施していますので復活した断魚溪に是非お越しください。

問合せ：邑南町役場 商工観光課 0855-95-2565



24景の1つ神楽淵



紅葉で色づく千畳敷



絶壁沿いを散策する断魚溪は大迫力!

中国自然歩道津和野コース(JR青野山駅付近)に バイオトイレを設置しました

津和野コースは津和野町の中心部を通る延長約35kmのコースで、津和野の史跡や歴史、また、天然湖沼でありモリアオガエルの生息する地倉沼や、津和野百景図でも1番多く描かれている青野山等の森や川の自然が楽しめる絶好のコースとなっています。しかし、地倉沼と青野山を結ぶルートには今までトイレがなく不便だったことから、今回バイオトイレを設置しました。

バイオトイレは杉チップ内に住みついた微生物の働きで排泄物や臭気を分解し消滅させる排水不要型で環境にやさしい作りになっています。このトイレが完成した事により、イベントなどでの活用が期待され、地域の活性化にも役立つと思います。

地倉沼を愛する津和野町民としては、地倉沼はまるでオアシスにいるような雰囲気を感じると思っています。ぜひ一度訪れていただき、癒しを感じて欲しいと願っています。

なお、地倉沼にはトイレがありませんので、付近を訪れる際にはバイオトイレでトイレを済ませてからにしてくださいね。環境保全にご協力をお願いいたします。



問合せ：津和野町役場 商工観光課 0856-72-0652

中国自然歩道とは

ふるさとの美しい自然や文化的遺産を巡りながら、中国地方を一周する長距離自然歩道です。島根県内には約650kmの歩道が整備されており、この中でも特に見どころの多い区間を12コースとして紹介しています。



地倉沼入口付近



地倉沼全景

「自然のパノラマ癒しの立久恵峡」

JR出雲市駅から国道184号線を南へ10kmほどのところに郷土が生んだ若槻禮次郎首相(第25代、第28代)も激賞した立久恵峡があります。神戸川の清流にそって約2kmにわたり高さ100~200mもの岩壁がそそり立ち、その景観が九州の耶馬溪谷に似ていることから「山陰の耶馬溪」とも称されています。この集塊岩の溪谷は神戸川の浸食や風化によってできたもので、左岸には神亀岩、烏帽子岩、ろうそく岩などの名で呼ばれる見事な奇岩が連なります。1927年に国の名勝・天然記念物に、1964年には県立自然公園に指定されています。

公園内は自然観察モデルコースとして自然の形で遊歩道が整備され、五百羅漢、千体仏、霊光寺、若槻禮次郎にちなんだ若槻公園や平成18年の豪雨水害で被災、後にオートキャンプ場他を備え、平成23年に再オープンしたわかあゆの里など見どころがたくさんあります。また、植物の宝庫として称賛されこの地にしかないオッタチカンギク、オオメノマンネングサなどを見ることができます。

どうか、大自然のパノラマを満喫し、心癒す立久恵峡へお越しください。



わかあゆの里



オッタチカンギク



霊光寺から天柱峰を望む

問合せ：立久恵峡観光ガイドの会(乙立コミュニティセンター内) 0853-45-0216

第514回 NACS-J自然観察指導員講習会・島根県

平成28年6月25・26日の2日間にわたり、(公財)日本自然保護協会(NACS-J)、島根県、国立三瓶青少年交流の家及び島根県自然観察指導員連絡協議会の共催により、「NACS-J自然観察指導員講習会」を、三瓶青少年交流の家を会場として開催しました。全国の講習会としては514回目、島根県では5年ぶり10回目の開催となりました。

NACS-J自然観察指導員とは、地域に根ざした自然観察会を開き、自然を自ら守り、自然を守る仲間をつくるボランティアリーダーで、日本自然保護協会が1978年から自然観察指導員の養成講習会を開いています。平成28年まで受講者は2万8000人を超えています。

講習会は、講義と野外実習から成っており、一日目は、野外実習で体験しながら自然観察の実践を学び、自然保護や自然観察の基本的な思想や手法の講義を受けました。



野外実習の様子。講師の巧みな解説に皆感心



屋内講義の様子。自然保護とは何か思いを巡らす



樹木の観察をしている様子



観察会を実践すると自然観察指導員の緑の腕章が授与される

二日目は、一日目で学んだことをふまえ、自ら自然観察会を実践する機会となります。午前には自然観察の素材を探し、観察会の内容を企画します。そして、午後には他の参加者にむけて自然観察会を行いました。

一泊二日の短い期間ではありますが、濃密な時間を過ごした受講者の皆さんは、それぞれ立派な「自然観察指導員」となって各地で活躍されることでしょう。

豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくためには、自然と適切に関わっていく必要があります。そのはじめりが自然観察です。島根県では「島根県環境基本計画」において、「自然とのふれあいの増進」を重点施策とし、自然保護や自然観察の担い手の育成を支援しています。

★自然観察指導員について詳しくはこちらをご覧ください。

日本自然保護協会ホームページ
【<http://www.nacsj.or.jp>】

浜田市

「常磐山カシ林」で自然観察会を行いました

浜田市金城町の「常磐山のカシ林」は、地域住民のシンボルとして親しまれている常磐山八幡宮の裏山にあり、「みんなで守る郷土の自然」地域に選定されています。

このカシ林は、森全体に樹齢300年以上のウラジログシの巨木33株があるほか、アシオスギ(大杉)の巨木3株(県指定天然記念物)、ヤブツバキ100株が見られ、訪れた人を楽しませてくれます。また、ヤマフジ、シロダモ、ユズリハ、チャボガヤ、ハイヌガヤなども見られ、日本海側の典型的な混成樹林とされています。

波佐文化協会では、カシ林の見学者が、年間を通して安全に林内を散策出来るよう、巡回遊歩道の整備・清掃作業を行っています。

このたび、当協会では古くなった看板類(案内板・樹木札・順路札)をリニューアルした記念に、自然解説員の森定善政氏を講師に招き「常磐山のカシ林自然観察会」を開催しました。あいにくの小雨模様でしたが、林内は雨具も必要なく、ニオイコベニタケなど沢山のキノコ類の観察も出来ました。また、八幡宮神楽殿にて林内に生育するヤブムラサキ、ヤマナシなどの葉っぱや実のサンプルを用いた解説もあり、充実した自然観察会となりました。



「みんなで守る郷土の自然」選定地域とは

身近な生活環境の中に点在する動植物の生息地や、地域住民のシンボルとして親しまれている自然環境を地域で保全・保護し、住み良い地域社会を形成することを目的として選定された地域のことです。

問合せ：波佐文化協会 0855-44-0010

出雲市

自然の素材を使った親子工作教室



出雲市佐田町にある「目田森林公園」は、その昔、山陰と山陽を結ぶ軍事上の拠点として激しい争奪が繰り返された「高檜城」跡地の馬場を利用し、山の緑と空の青さを水面に映す目田池のほとりに造られた森林公園です。

昨年、一昨年と島根県森林技術サポーターの支援を受け、夏休みを利用して「親子で作ろう！夏休み工作教室」を開催しました。自然の中にある素朴な材料(くるみやドングリ、松ぼっくり、木の枝など)を使って、動物(亀やクマ、ライオンなど)を作ったり、竹を使って一輪挿しを作ったりしました。子どもたちのアイデアはまさに無限大で、見本には無いような昆虫や動物がたくさんできました。

この教室をこれからも続けていき、親子で触れ合いながら自然の大切さを学んでもらいたいと考えています。



〒693-0506 出雲市佐田町反辺 1141-4
目田森林公園 管理棟 ☎0853-84-0805



第17期島根県自然保護レンジャーを委嘱しました



島根県では、県内の自然公園等（国立・国定公園、県立自然公園、中国自然歩道及び自然環境保全地域など）においてボランティアとして野生動植物の保護や自然環境の美化、事故の防止などについて利用者へ指導を行ったり、パトロールなどで得た情報を県へ提供をしていただいたりする、島根県自然保護レンジャーを委嘱しています。

任期は2年。第16期の任期満了に伴い公募を行ったところ、たくさんの申込みをいただき、平成28年度から活躍いただく第17期島根県自然保護レンジャー 155名を委嘱しました。

昭和59年に第1期がスタートしてから今期で第17期。今年度も違法採取の啓発や、さまざまなボランティア活動への参加。パトロールでの気付きやご指導など、たくさんの報告をいただいております。いただいた報告により、施設の修繕や倒木の処理など、迅速に対応・解決出来た事例もたくさんあります。

しまねの自然を守るため、これからも自然保護レンジャー皆さんの活躍を期待しています。



自然保護レンジャー報告

自然保護レンジャーさんから届いた活動報告の一部です。

報告内容① 大山隠岐国立公園（地蔵崎園地）でのゴミの投棄情報
→自然保護レンジャーによりゴミ回収



回収したゴミで袋はイッパイに(´Д｀)!!

報告内容② 中国自然歩道（枕木山・大平山モデルコース）上での倒木・倒竹情報
一部の倒木・倒竹については自然保護レンジャーが処理
→残りの倒木・倒竹については、後日、自然環境課職員が現地に行き処理。



登山道を塞いでいた倒木も利用者の方が通行しやすいように処理しました (´・ω・`)♪



かわいい植物いっぱい報告も届きます☆(*^▽^*)☆
レンジャーの皆さんからいただいた報告を活かし、これからも自然公園等の利用環境や自然環境の保全に努めていきたいと思ひます。

新任自然保護レンジャー研修会を開催しました！

平成28年7月23日（土）三瓶自然館サヒメルを会場に、新任自然保護レンジャー研修会を開催しました。

研修会では、最初に自然環境課職員から、自然公園や自然保護活動の基礎知識や、レンジャー報告の事例などを紹介させて頂きました。

続いて日本赤十字社の福田救急法指導員から、「野外で活用できる救急法」に関する講義がありました。この講義では、野外で起こる熱中症などの危険な事例と、その対応法を学びます。三角巾を使って痛めた手足を固定する実習もあり、参加者同士が互いに協力して、安全な野外活動の知識を身につけました。

また、三瓶自然館の安藤研究員から「危険生物と三瓶山のほ乳類」と題し、クマやマダニなどの危険な生物の習性や、出会ったときの対応法の講義を受けました。途中からは野外に出て、三瓶山の様々な動物が残した痕跡を探しました。モグラ穴、ネズミの食跡、ヘビの抜け殻、テンの爪痕など、たくさんの痕跡を見つけることが出来ました。

短い研修でしたが、今回の研修が新任レンジャー皆さまの安全で楽しいレンジャー活動に役立つことを願っています。



三角巾による固定法を学びます



野外でモグラ穴を発見。モグラの不思議な生態について解説を受けました。



研修を終えてみんなで集合写真！

初夏の三瓶でブタナクリーン大作戦！

知っていますか？ブタナのこと

草原一面を埋め尽くす黄色の花。

これは6月頃の三瓶山の光景です。タンポポによく似た花を咲かせるこの植物は、ブタナと呼ばれるヨーロッパ原産の植物で、もともと三瓶山には生育していませんでした。しかし、他の地域から人間の活動に伴い持ち込まれ、強い繁殖力でどんどん生息域を拡げています。

このように、本来その地域に生育していなかった植物は「外来植物」と呼ばれています。外来植物が拡がると、もともと生育していた植物の生育地が奪われ、在来種が少なくなったり、景観が大きく変わってしまうことがあります。



一面を埋め尽くすブタナの花



タンポポによく似た花を咲かせるブタナ

ブタナクリーン大作戦

近年、ブタナは三瓶山の西の原でも増えつつあります。外来植物対策は増え始めが肝心!ということで、毎年5月に行われている「クリーン三瓶」という美化清掃活動にあわせ、ブタナの除去を行いました。

当日は快晴♪澄み渡る青空の下、自然公園指導員や自然保護レンジャーの皆さんの協力を得ながら、ブタナの除去に汗を流しました。除去と言っても、ブタナは太く長い根を地中深く伸ばし、なかなか抜けてくれません。皆さんブタナに負けてなるものかと、スコップなどを使って根が残らないよう掘り取っていただきました。

おかげさまで、写真のように沢山のブタナを除去することが出来ました。引き続き、ブタナの除去を継続し、三瓶山の素晴らしい草原景観を守っていききたいと思います。



青空の下、ブタナ除去を頑張りました



たくさん取れたブタナを前に記念写真

平成28年度自然保護関係表彰受賞者の紹介

■ 自然公園関係功労者 環境大臣表彰

松江市 福田 悟さん
 大山隠岐国立公園などにおいて、登山指導や救急法の指導、登山道点検、青少年への自然体験活動、自然観察会の開催など、自然公園利用者の適正な指導等に尽力。

■ 自然公園指導員 環境省自然環境局長表彰

松江市 吉持 滋さん
 長年にわたり環境省の自然公園指導員として、登山者へのマナー指導、施設の損傷に関する情報収集や提供を行うほか、事故防止のための安全指導について尽力。

■ 自然歩道関係功労者 環境省自然環境局長表彰

松江市 村松 通宏さん
 自然公園指導員等として自然歩道の障害物の除去、事故防止のための巡視、利用者のマナー指導等を行い、自然歩道の適正な利用の推進を行うほか、小学生児童を対象にふれあい行事を行うなど、自然保護の普及啓発に尽力。



「みんなで守る郷土の自然」などの選定地域について

島根県では豊かな自然環境の保全を図るために、身近にある貴重な自然や自然観察路、地域住民のシンボルとして親しまれている自然などを、「みんなで守る郷土の自然」「みんなで作る身近な自然観察路」「みんなで親しむふるさとの杜」として選定しています。

これらの選定地域では、地域住民のみなさまの自発的な保全・管理活動を通して、地域の自然環境や野生動植物等を保護・保全する取り組みが行われています。

島根県のホームページで各地域の状況を案内しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/>



【長浜海岸(出雲市)の標識】



【船通山(奥出雲町)】



【鷹入の滝自然観察路(安来市)】



【金言寺の大イチョウ(奥出雲町)】